

【参考資料】睡眠を見える化するアプリ「Sleep Data」

—あわせて生体センサーによる客室の管理および状態分析に関する特許を出願中

USEN-NEXT GROUP の株式会社 アルメックスは、本日、2018年10月19日に睡眠を見える化するアプリ「Sleep Data」を宿泊施設向けにリリースいたしました。

「Sleep Data」は、ベッドのマットレスに設置した睡眠センサーと Android TV を利用して、宿泊客がリモコン操作で簡単に睡眠状態（心拍・呼吸・体動）と睡眠環境状態（室温・湿度）を記録し、分析結果を表示できるシステムとなります。また、生体センサーによる客室の管理および状態分析に関して、特許も出願いたしました。

昨今、睡眠に関しては、さまざまな研究進められており、不眠症をはじめ、睡眠時無呼吸症候群などの睡眠障害は生活習慣病、精神疾患などに結びつく可能性が高まることが示されており、今後も睡眠への注目度が上がってゆくであろうことが伺えます。

（参考：厚労省 HP https://www.mhlw.go.jp/kokoro/known/disease_sleep.html）

また、本アプリを活用する宿泊施設様においては、宿泊客の生体データを観測し、客室毎に集計することで、客室の居心地の良さ、寝心地の良さ等客室の快適度合いを示す指標を形成することも可能となります。

■ 睡眠センサー



■ 睡眠スコア/睡眠サイクル サンプル画面

